

## 介護過程

**問題 61** 介護過程の目的に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 疾病の診断資料として活用する。
- 2 職種間の専門性の違いを明確にする。
- 3 介護福祉職の業務負担を軽減する。
- 4 利用者の自己実現を支援する。
- 5 家族の希望や思いを代弁する。

**問題 62** 利用者のアセスメント(assessment)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者本人の希望に沿った情報を収集する。
- 2 家族のニーズを優先させながら情報を収集する。
- 3 介護福祉の知識を活用して情報を解釈する。
- 4 生活課題を明確にした後で情報を関連づける。
- 5 利用者の情報を整理した後で要望を聞く。

**問題 63** 介護計画の立案に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 以前の介護計画は考慮せずに立案する。
- 2 現実的で実践可能な内容にする。
- 3 介護福祉職の望む利用者像を目指す。
- 4 本人や家族の希望と乖離<sup>かいり</sup>してもよい。
- 5 安全性よりも効果を優先する。

**問題 64** 介護記録に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 事実はありのままに記録する。
- 2 鉛筆で記録する。
- 3 数日後に記録する。
- 4 介護福祉職の感情を記録する。
- 5 他職種との関わりを除外して記録する。

**問題 65** 介護過程の評価に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護計画の内容に対する介護福祉職の満足度を評価する。
- 2 支援の実施状況に関する情報を整理して、評価する。
- 3 複数ある短期目標は集約して評価する。
- 4 実施後に評価基準を定めて評価する。
- 5 家族が多角的な視点から評価する。

**問題 66** Eさんは認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居している。廊下を頻繁に歩き、他の利用者の部屋に入ってはトラブルになりかけている。介護福祉職が声をかけると、「私には行くところがある」と怒鳴る。

Eさんのアセスメント(assessment)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 怒鳴られた介護福祉職の気持ちを情報として活用する。
- 2 「廊下を頻繁に歩かないこと」を生活課題に設定する。
- 3 他の利用者でトラブルになりかけている情報は不要と判断する。
- 4 「私には行くところがある」という言葉を解釈する。
- 5 言動から短気な性格だと考えて分析する。

**問題 67** Fさん(75歳、女性)は、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)である。家族の介護負担が増加して、3日前から介護老人保健施設に入所している。入所前から、トイレに間に合わずに尿失禁をしてしまうことがあるため、昼夜、リハビリパンツを使用している。歩行は自立している。夜間、トイレに起きているが、その後、眠っていることが確認されている。

Fさんの尿失禁の改善を目標に収集する情報として、最も優先度の高いものを1つ選びなさい。

- 1 介護負担となっている家族背景
- 2 施設生活に対する不安
- 3 夜間の中途覚醒状況
- 4 トイレに行く時間帯
- 5 歩行に必要な下肢筋力

**問題 68** Gさん(66歳, 女性)は, 1年前に脳梗塞(cerebral infarction)を発症して片麻痺かたまひになった。在宅復帰を目指し, 介護老人保健施設に入所して, 「家に帰れるように頑張らなくちゃ」と熱心に立位訓練に取り組んでいた。しかし, 同居していた孫が3日前に訪れてから, 「体調が悪い」と言って, 閉じこもり, 食事は半分も食べなくなった。傾聴ボランティアがGさんの居室を訪れると, 「訓練しても帰るところがない」と泣いて話したという。

Gさんに対する介護福祉職の対応として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 食事量を評価して, 栄養指導を行う。
- 2 立位訓練を評価して, 回復状況を把握する。
- 3 家族と調整して, 退所後の住まいを整える。
- 4 サービス担当者会議に孫を招集する。
- 5 傾聴ボランティアの情報を基に, 本人の生活ニーズを確認する。